

2. 事業の概要と成果																																																		
(1) 上位目標	「土のう」による道直し技術を使った農村生活社会基盤（農村道路）を、住民自らが整備または維持管理するような技術移転を通して、生活改善に向けた住民活動が活性化し、農村部での収入、生活レベルが向上する。																																																	
(2) 事業内容	<p><b>活動1</b> アソシエーション執行部役員との定期ミーティングの実施 ウワシングシユ農村開発アソシエーション（以後 URDA）の執行部 5 名を対象に 10 回の役員会が行われ、組織運営・管理について話し合いが持たれた。</p> <p><b>活動2</b> 関係機関を招致したワークショップの開催（2011 年 10 月 18 日） URDA 代表者 51 名と関係機関 18 名が参加した。本 NPO から本事業についてや「土のう」工法の有効性を説明し、URDA からはこれまでの活動の経緯や今後の計画等についてプレゼンテーションを行い、関係機関と意見交換を行った。</p> <p><b>活動3</b> 経験者向け道直しトレーニングの実施 これまですでに道直しを経験している 5 グループに対し、「土のう工法」を使った簡易な見積もり方法、申請書の書き方などのトレーニング（各 2 日間）と、による道直しトレーニング（各 5 日間）を行った。</p> <p><b>活動4</b> 初心者向け道直しトレーニングの実施 「土のう工法」による道直しに始めて取り組んだ 6 グループに対し、「土のう工法」による道直しトレーニング（各 5 日間）を行った。</p>																																																	
(3) 達成された効果	<p><b>活動1</b>：アソシエーション執行部役員との定期ミーティングの実施 定期的なミーティングを通して、組織運営に必要な次の項目が整備された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組織運営に必要な規約の詳細（資金調達方法、新しいメンバーの入会方法等）</li> <li>他機関に対する活動アピール（ワークショップで関係機関にプレゼンテーションを実施）</li> </ul> <p><b>活動2</b>：ワークショップが開催され（2011 年 10 月 18 日）地方行政組織等の関係機関等とアソシエーションメンバーによる意見交換が行われ、「土のう工法」による道直し活動が理解された。</p> <p><b>活動3</b>：経験者向け道直しトレーニングの実施（5 チーム）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路の補修距離：589.5m 参加農民数：180 名（下表 1、添付書類 1 写真参照）</li> <li>道直し活動継続のための事業申請書の提出</li> </ul> <p>トレーニングを行った 5 つのグループから、KeRRA（ケニア農村道路公社ウワシングシユ事務所）に対して、道直し活動継続のための事業申請書が提出され（1 月 14 日）現在回答待ちの状態である。</p> <p>表 1 経験者向けトレーニングで行った道直し施工</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>実施した県</th> <th>グループ名</th> <th>参加者</th> <th>施工距離</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/10-15</td> <td>エルトレットウエスト県</td> <td>カプタバー</td> <td>38</td> <td>264</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>11/21-25</td> <td>エルトレットウエスト県</td> <td>エペソ</td> <td>38</td> <td>102</td> <td>側溝整備:234m</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11/7-11</td> <td>エルトレットウエスト県</td> <td>コクワルック</td> <td>32</td> <td>75.5</td> <td>側溝整備:160m</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/24-28</td> <td>ワーレン県</td> <td>カズキ</td> <td>36</td> <td>68</td> <td>側溝整備:236m</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/31-11/1</td> <td>ワーレン県</td> <td>ジャショコア</td> <td>36</td> <td>80</td> <td>側溝整備:950m</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td><b>180 名</b></td> <td><b>589.5m</b></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>活動4</b>：初心者向け道直しトレーニングの実施（5 チーム）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路の補修距離：597.6+km 参加農民数 168 名（下表 2、添付書類 1 写真参照）</li> </ul>		実施日	実施した県	グループ名	参加者	施工距離	備考	1	10/10-15	エルトレットウエスト県	カプタバー	38	264		2	11/21-25	エルトレットウエスト県	エペソ	38	102	側溝整備:234m	3	11/7-11	エルトレットウエスト県	コクワルック	32	75.5	側溝整備:160m	4	10/24-28	ワーレン県	カズキ	36	68	側溝整備:236m	5	10/31-11/1	ワーレン県	ジャショコア	36	80	側溝整備:950m					<b>180 名</b>	<b>589.5m</b>	
	実施日	実施した県	グループ名	参加者	施工距離	備考																																												
1	10/10-15	エルトレットウエスト県	カプタバー	38	264																																													
2	11/21-25	エルトレットウエスト県	エペソ	38	102	側溝整備:234m																																												
3	11/7-11	エルトレットウエスト県	コクワルック	32	75.5	側溝整備:160m																																												
4	10/24-28	ワーレン県	カズキ	36	68	側溝整備:236m																																												
5	10/31-11/1	ワーレン県	ジャショコア	36	80	側溝整備:950m																																												
				<b>180 名</b>	<b>589.5m</b>																																													

表2 初心者向けトレーニングで行った道直し施工

	実施日	実施した県	グループ名	参加者	施工距離	備考
1	11/28-29, 12/14-16	ワーレン県	クカダ	36	60.8	側溝整備:416m、 ドリフト設置:5m
2	1/16-20	ワーレン県	マザル(カゾキ)	33	176	側溝整備:532m、
3	1/23-27	ワーレン県	シマツト(カゾキ)	33	170.8	側溝整備:220m、
4	1/30-2/3	ワーレン県	ランガス(カゾキ)	33	196	側溝整備:448m、
5	2/21-25	ワーレン県	オアシス(カゾキ)	33	180.4	側溝整備:372m
				<b>168名</b>	<b>784m</b>	

(4) 今後の見  
通し

**活動1** 道路省へコントラクターとしての登録をするための、会計士の指導のもと、会社登録等の手続きを継続するとともに、組織運営強化のために次の内容について活動を行っていく。

- 会計の明瞭化、会計報告について（会計士による講習会の実施3回）
- コントラクター登録のために必要書類の作成等

**活動2** プロジェクトの報告、今後の計画に対する話し合いのため、関係機関を招き、ワークショップを行う（8月予定）。

**活動3,4** 道直しトレーニング

- 5チーム（各5日間）の初心者向け道直しトレーニング（活動4）を次表3の予定で行っていく。

表3 初心者向けトレーニングで行った道直し施工

	実施予定日	実施する県	グループ名	参加者
1	2月28-3日2日	ワーレン県	ジャシヨマレール(カゾキ)	33
2	3月5-9日	ワーレン県	キムリ(カゾキ)	33
3	3月12-16日	ワーレン県	セリトウェット(カゾキ)	33
4	3月19-23日	ワーレン県	ソングリエット(カゾキ)	33
5	3月26-30日	ワーレン県	カブレラッチ(カゾキ)	33

- フォローアップ（6-7月）

道直しトレーニングが終了したチームに対し、道のメンテナンスについてフォローアップを行う。初めて道直しに参加したメンバーに対して認定書を交付する。

また、道直しによって地域にどのようなインパクトがあったか、以下の点を中心にグループとの話し合いを通して調査を行う。（農作物出荷量・販売金額、学校・診療所へのアクセス、住民活動の実施状況等）